



「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」の選定について

☆概要

- 6月15日、下川町は、政府が本年度創設した「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定をされ、安倍内閣総理大臣から選定証の交付を受けた。
- 「SDGs 未来都市」は、政府が自治体による SDGs の達成に向けた取組みを公募、優れた取組みを提案する都市を最大 30 程度選定し、自治体 SDGs 推進各省庁タスクフォースにより支援をするもの。
- 「自治体 SDGs モデル事業」は、その中で特に先導的な取組みの提案について、10 程度選定し、取組みの実現と普及展開に資金的に支援をするもの。
- 今回の選定を受け、谷下川町長は「2017年12月の第1回ジャパン SDGs アワード総理大臣賞受賞に続き、SDGs 未来都市及び自治体 SDGs モデル事業の選定を受け大変光栄に思う。提案の中核を成す「2030年における下川町のありたい姿（下川版 SDGs）」は、町民の意見を広く取り入れて策定をしたものであり、この実現に向け、町内外の多様な人・企業・団体などと連携をして、積極的に取組みを進めていく。」とコメント。



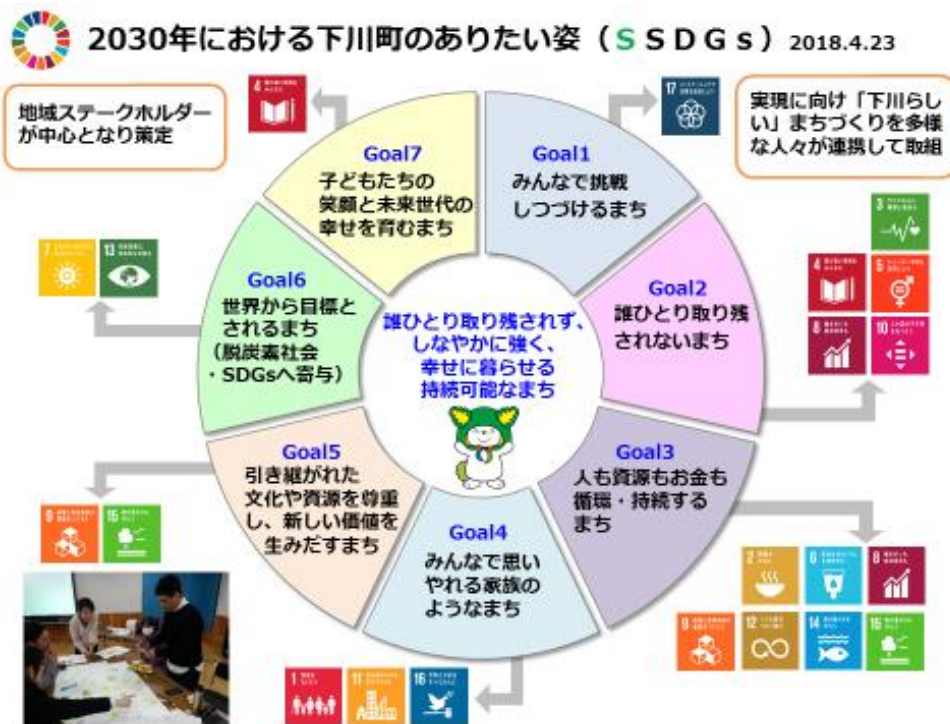
【問い合わせ先】

北海道下川町 環境未来都市推進課 SDGs 推進戦略室
藪島・仲埜・和田
TEL : 01655-4-2511

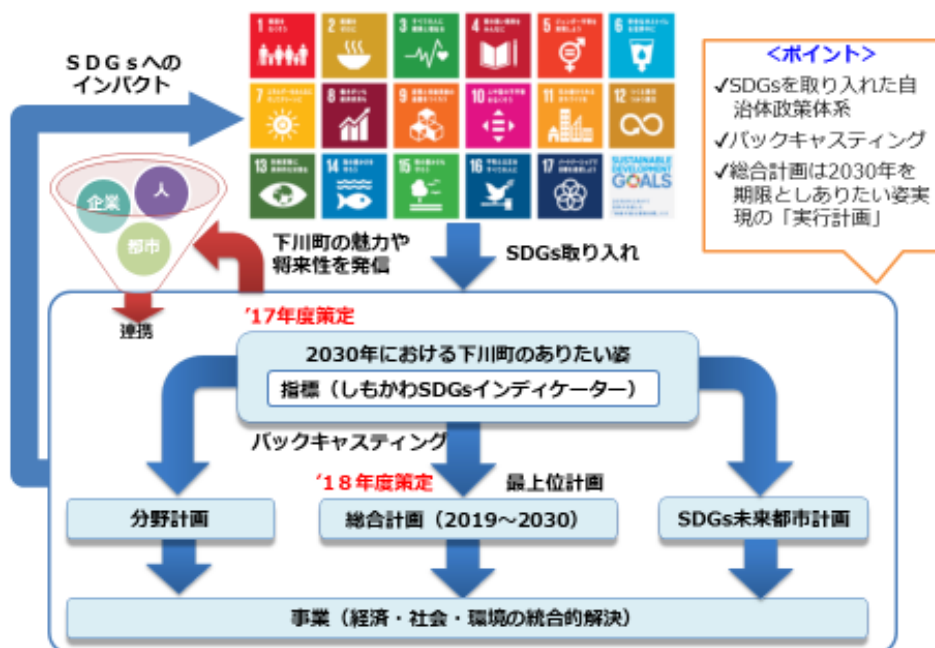
☆詳細

1. SDGs 未来都市全体計画（概要）

■「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」の実現のための計画（総合計画・SDGs 未来都市計画など）を策定、具現化のための事業を位置付け、町内外の多様な人々が連携をして、この実現に向けた取組を進める。



SDGsを取り入れたまちづくり



2. 自治体 SDGs モデル事業（概要）

■「2030 年における下川町のありたい姿」の実現に向け、林業の川上から川下までのシームレス産業化、中心市街地最適居住空間計画、森林バイオマス利用拡大による脱炭素社会構築などの事業について、SDGs パートナーシップセンターを構築し、経済・社会・環境の各側面における相乗効果を発揮しながら推進する。



人と自然を未来へ繋ぐしもかわチャレンジ2030

